



仙台市水道局キャラクター

ウォーターくん

平成 29 年度事業計画

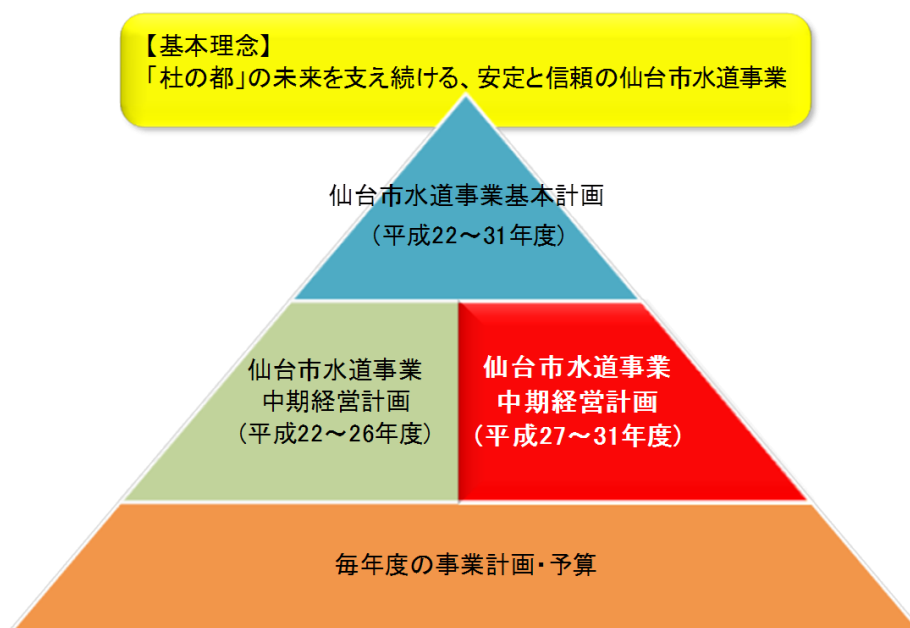
仙台市水道局

1. はじめに

- 仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 22 年度～平成 26 年度）」（以下「前期計画」という。）に基づき、各年度の事業に取り組んできました。この度、前期計画期間の満了に当たり、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災という未曾有の災害に直面した経験と教訓、そして現状と新たな課題を踏まえつつ、基本理念の実現に向けた施策や事業を推進していくため、新たに後半 5 年間の「仙台市水道事業中期経営計画（平成 27～31 年度）」を策定し、事業に取り組んでいます。

このたび、平成 29 年度における事業計画がまとまりましたので、お知らせいたします。

図 仙台市水道事業の計画体系



2. 予算の概況

- 本市水道事業においては、これまでの経営の効率化に向けた取り組みにより、健全な財政状況を維持しておりますが、将来の人口減少や社会経済状況の変化等により水需要は減少していく一方で、経年化する老朽管の更新や、浄水・配水施設の更新・耐震化等に要する費用は増加していく見通しであることから、経営環境は一段と厳しさを増す見込みであり、引き続き事業運営の効率化やコスト縮減に努めながら、計画的な事業の推進を図っていく必要があります。
- 本年度においては、仙台市水道事業中期経営計画（平成 27～31 年度）に基づき、施設・管路の耐震化、水運用機能の強化、災害時給水機能の拡充、長期停電対策等の災害対策に重点的に取り組むとともに、水道料金に関するお客さまサービスの拡充や、水道施設の適正な管理のためのアセットマネジメントの取り組み等を推進してまいります。
- 今後も計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努め、安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて、お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。



3. 事業実績

区 分	単位	平成 29 年度 当初 予 算 (C)	平成 28 年度 補 正 後 予 算 (D)	増 減 (△ 減) (C) - (D)	比 率 (%) (C)/(D)
年間総配水量 (A)	m ³	119,402,450	119,139,650	262,800	100.2
(仙 台 市 配 水 量)	m ³	(115,190,350)	(114,938,500)	(251,850)	(100.2)
(他 市 町 分 水 量)	m ³	(4,212,100)	(4,201,150)	(10,950)	(100.3)
一日最大配水量	m ³	359,100	356,781	2,319	100.6
一日平均配水量	m ³	327,130	326,410	720	100.2
年間有収水量 (B)	m ³	112,774,050	112,467,450	306,600	100.3
有 収 率 (B)/(A)	%	94.4	94.4	0.0	100.0
使用給水栓数	栓	448,600	447,000	1,600	100.4
職 員 数 (管 理 者 除 く)	人	408	408	0	100.0

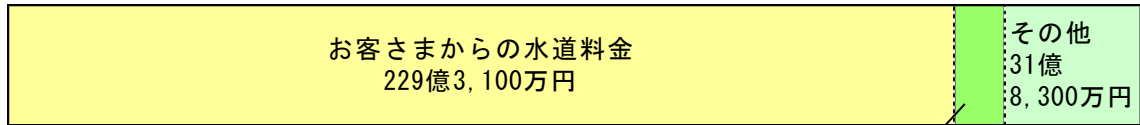


4. 財政状況

(1) 収益的収支

- 水道水をつくり、ご家庭にお届けするための財源と経費です。

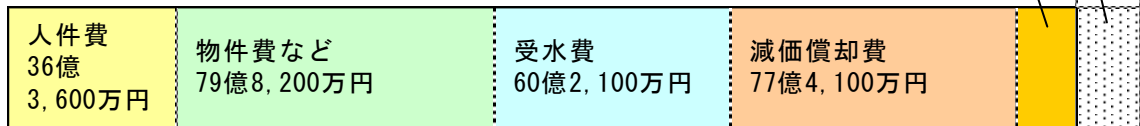
収入 274億5,800万円



長期前受金戻入13億4,400万円
固定資産の財源として交付された補助金
などについて、毎年度の減価償却見合い
を収入として計上したもの

純利益9億300万円

支出 265億5,500万円



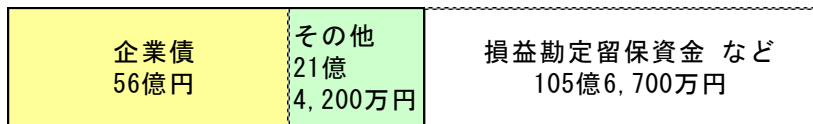
県などから浄水を
購入するための費用

水道施設などの資産価値
の目減り分を毎年の費用
として計上したもの

(2) 資本的収支

- 水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

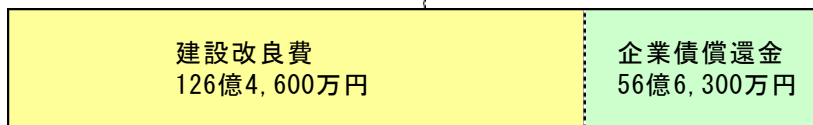
収入 77億4,200万円



施設の建設・改良工事の
ために国などから借りる
お金

減価償却費などの現金支出
を伴わない費用などを充当

支出 183億900万円



施設の建設・改良工事のための費用

国などからの借入金
の元金の返済

(3) 前年度との比較(収益的収支)

(単位 千円)

区 分 科 目	平成 29 年度 当初予算	平成 28 年度 補正後予算	増減(△減)	比率(%)
水道事業収益	27,458,570	27,666,796	△ 208,226	99.2
営業収益	24,715,680	24,621,855	93,825	100.4
給水収益	23,505,654	23,562,031	△ 56,377	99.8
受託工事収益ほか	1,210,026	1,059,824	150,202	114.2
営業外収益	2,740,264	2,938,572	△ 198,308	93.3
水道加入金	954,303	1,079,171	△ 124,868	88.4
他会計補助金	361,357	346,323	15,034	104.3
長期前受金戻入	1,344,158	1,328,430	15,728	101.2
不動産賃貸料ほか	80,446	184,648	△ 104,202	43.6
特別利益	2,626	106,369	△ 103,743	2.5
水道事業費用	26,555,258	27,266,890	△ 711,632	97.4
営業費用	25,303,062	24,799,893	503,169	102.0
人件費	3,636,437	3,575,301	61,136	101.7
物件費	7,370,549	7,077,056	293,493	104.1
受水費	6,020,991	6,044,204	△ 23,213	99.6
減価償却費ほか	8,275,085	8,103,332	171,753	102.1
営業外費用	1,177,678	1,307,755	△ 130,077	90.1
支払利息	1,174,892	1,260,413	△ 85,521	93.2
繰延資産償却ほか	2,786	47,342	△ 44,556	5.9
特別損失	44,518	1,129,242	△ 1,084,724	3.9
予備費	30,000	30,000	0	100.0
当年度純損益(税抜き)	903,312	399,906	503,406	225.9

(注) 消費税及び地方消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

(単位 千円)

科目 \ 区分	平成 29 年度 当初予算額	平成 28 年度 補正後予算額	増減額(△減)	比率(%)
水道事業資本的収入	7,741,946	7,326,441	415,505	105.7
企業債	5,600,000	5,300,000	300,000	105.7
固定資産売却代金	1	1	0	100.0
出資金	765,850	889,998	△ 124,148	86.1
国庫補助金	1,104,507	741,826	362,681	148.9
開発負担金	225,174	259,136	△ 33,962	86.9
負担金	31,482	123,797	△ 92,315	25.4
その他資本的収入	14,932	11,683	3,249	127.8
水道事業資本的支出	18,308,610	16,415,784	1,892,826	111.5
建設改良費	12,646,187	11,177,185	1,469,002	113.1
配水管整備事業費	6,110,105	5,685,165	424,940	107.5
施設整備事業費	6,264,157	5,197,269	1,066,888	120.5
受託等工事費	271,925	294,751	△ 22,826	92.3
企業債償還金	5,662,423	5,238,599	423,824	108.1
差引	△10,566,664	△ 9,089,343	△ 1,477,321	116.3

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

5. 主な実施事業

- 平成 29 年度の主な事業を「水道事業中期経営計画」における 2 つの『目指すべき将来像』に沿ってご紹介します。※【 】内の金額は平成 29 年度の当初予算額です。

1 強くて安心な水道

(1) 災害に強い施設・システムの整備

- 管路の耐震化【約 56 億 1,100 万円】

老朽化した送配水管路を耐震性に優れた管で更新し、管路の耐震性を向上させます。特に、災害拠点病院等重要施設への配水管路を優先的に耐震化します。



管路の更新工事

- 浄・配水施設の耐震化【約 27 億 8,500 万円】

荒巻配水所の更新や、茂庭浄水場配水池等の施設の耐震補強工事を行います。

- 配水ブロックの再編【約 4,500 万円】

適正な水量と水圧の管理、災害時等の影響範囲の縮小化などを図るため、現在 129 ある配水ブロックの細分化と再編に係る施設整備を行います。

(2) 災害対応力の強化

- 災害時給水栓の設置【約 3,000 万円】

大規模災害時などに迅速に給水所を開設できるよう、市立小学校 15 校に災害時給水栓を設置します。



災害時給水栓

- 非常用自家発電設備の更新等【約 3 億 4,300 万円】

災害時などの長期停電に備え、主要な浄水場・配水所の非常用自家発電設備の更新などを行い、運転時間を増強します。

(3) 水質管理の徹底

- 高度浄水処理施設の導入【約 2 億 4,200 万円】

水源のダム湖で発生した臭いなどを除去し良質な水を供給するため、福岡取水場へ粉末活性炭注入設備を新設します。



粉末活性炭注入設備

2 エコで持続可能な水道

(1) 環境に配慮した事業の推進

- 省エネルギー型機器への切り替え等【約 2 億 1,100 万円】※老朽更新費用を含む
福岡浄水場の受変電設備更新や国見庁舎の照明LED化、本庁舎の空調設備更新など、省エネルギー型機器への切り替えを推進します。
- 次世代自動車等の導入【約 1,300 万円】
公用車の更新に合わせ、次世代自動車等への切り替えを推進します。

(2) お客さま本位の事業の推進

- クレジットカード決済・基本料金の日割計算の導入
水道料金のクレジットカード決済や基本料金の日割計算を導入し、さらなるサービスの充実を図ります。

(3) 経営マネジメントの推進

- アセットマネジメントの推進
水道施設の適切な維持管理や計画的な更新など、アセットマネジメントの取り組みを更に推進するため、水道施設の情報を管理するシステムを構築しています。

